

第566号



喬木村公民館：長野県下伊那郡喬木村6664



発行日 2016年 5月16日  
 発行責任者 喬木村公民館長 橋本 美穂  
 編集責任者 公民館編集部 長 仲田 久志  
 印刷 龍共印刷株式会社

# みんなが楽しく フットサル大会！

たかぎスポーツクラブ

三月十三日(日)、「たかぎスポーツクラブ」主催のフットサルエンジョイMIXが開催されました。子どもから大人まで、男性も女性も、みんな一緒に楽しくプレーすることをコンセプトに、七チーム五十七名がエントリー。楽しくも真剣に優勝を争い、総当たり戦の結果「伊久間トリード」が見事優勝。また、

最も印象的だったチームに贈られるMIT賞には「神稲建設」が選ばれました。

大会はチームの垣根を越えて共に練習する姿が見られたり、上手に試合実況をする子どもがいたり、参加者全員で大会を盛り上げました。



子どもの元気が大人を圧倒！



参加者みなさんの集合写真♪

## 運動公園ロータリー「花苗は植える」

たかぎカーデニングクラブ 小澤 敦子

運動公園ロータリー(中学校体育館北側)に置いてある大きなプランターをご存知でしょうか？その形は直方体や円形のものなどさまざまです。

私たちのクラブが依頼を受け、このプランターたちへ花苗を植栽するように丸二年となりました。今は大きなプランターいっぱい、春の花である「チューリップ」と「ビオラ」が、色とりどりの花を咲かせて、このあたり

一面華やいております。運動や散歩を兼ね、ぜひ一度足を運んでみてください。太陽に向かって咲き誇っている姿を見ると、「元氣」や「生命」が伝わってきます。

そして季節の移ろいとともに、プランターに咲く花たちも変わります。次はどんな花たちが主役で登場するか…どうぞワクワクしてお待ちください。乞うご期待を!!



満開のチューリップ

## 新しい校長先生の ご挨拶

良き伝統を受け継いで

喬木中学校 校長 川手 浩司

塚田道彦校長先生の後任として、天龍中学校から赴任して参りました。今まで部活や授業研究会



等でも度々お邪魔し、何事にも真剣に取り組む、礼儀もしっかりとしている喬木中学校の生徒の姿にいつも好感を持っていました。

「よき伝統」です。この伝統を受け継ぎ、学校目標「自主・自律」のもと、生徒達は、更に発展させていこうとしています。

生徒一人ひとりが明るく元気に勉学に励み、自分の可能性を十分に広げ、将来の喬木村を支えるとともに世界に通用するグローバルな人間に成長できるようにお願い、できることを考えて実践していきたいと思っております。

よろしく願っています。

明日も元気に  
登校できる学校に

喬木第一小学校 校長 北村 洋志

この四月より萩原敏行先生の後任として着任しました。自宅は松川町生田、前任教は飯田市立鼎中学校です。喬木第一小学校出身だという鼎中学校の保護者の方々や地域の皆様から「喬木第一小学校はとて素晴らしい学校ですよ。大好きな学校



です。」と声をかけていただき、赴任するのをとても楽しみにしていました。

そのような気持ちで迎えた始業式では、壇上から子どもたち全員と握手するつもりでエアー握手に全校の子

「ともに  
「すすんで」

喬木第二小学校 校長 中村 博見

前任の福島宏章先生の後任として着任しました。三月までの勤務は松本市立芳川小学校でした。出身は松本市です。

下伊那は二回目の勤務です。下伊那は気候も人柄も温かく、自然豊かで歴史も深く、とても環境の良いところと感じています。

喬木第二小学校もまさにそのとおりで、百四十年を



越える歴史、それを支えてきた地域の方の熱意を感じています。

また、村では文科省ICT活用実証事業という最先端の教育にも取り組んでおり、第一小学校と協力してどんな事ができるのか考えていきたいと思っております。

民俗資料館入口に村名の由来がありました。「伐木の音がとうとうと響き、鳥が

「よき伝統」です。この伝統を受け継ぎ、学校目標「自主・自律」のもと、生徒達は、更に発展させていこうとしています。

生徒一人ひとりが明るく元気に勉学に励み、自分の可能性を十分に広げ、将来の喬木村を支えるとともに世界に通用するグローバルな人間に成長できるようにお願い、できることを考えて実践していきたいと思っております。

よろしく願っています。

## あの時

四月に「世界で一番貧しい大統領」といわれた南米ウルグアイの前大統領、ホセ・ムヒカさんが初来日しました。

彼は若い頃は革命を志し、十五年もの投獄を経験したといっています。

その後は政治家を目指し、大統領に就任時は報酬の九割を慈善事業に寄付し、公邸ではなく自宅に住んで、外国へ行く際はエコノミーを使い、「世界で一番貧しい大統領」といわれるようになりました。

「貧しい人とは、持たざる人ではなく、いくらあっても満足しない人だ」という信念のもと、人々の生き方や社会の在り方を問い続けた人なのだと思います。

現在八十歳の彼は昨年任期を終えたのですが、彼が望んだ国家・社会とはどんなものだったのでしょうか。

現在の日本は確かに経済的には豊かになったけれど、耳を塞ぎ、目を覆いたくなるような事件・事故が毎日のように報道されます。これで良いのだろうかという思いを誰もがもっているのではないかと思います。

世界全体をみてもグローバルな消費社会に飲み込まれ、環境は破壊され、格差が広がり、過酷な経済競争の中で人々の心が触れられていきます。

北朝鮮の暴挙も難民問題もテロも、そのような社会のひずみが生み出した結果であり、制裁を加えたり非難することは簡単だけれど根本的な解決にはほど遠いのが実情なのではないかと思っております。

ホセ・ムヒカさんが自ら示した生き方は、現在の人間社会は何を求め、どこを目指そうとしているのだろうかという切実な問いかけなのだと思います。

昨年任期を終えた彼は、現在農民に戻って、三部屋の家に奥さんと暮らし、相変わらず質素な生活を続けているといっています。

前任校で聞いていたとおりの素晴らしい姿に、たくさん触れることができ嬉しく思います。

明るく素直な子どもたちをより一層伸ばすために、学校目標「力一杯」今を生きる」を具現し、明るく、温かく、明日も元気に登校できる学校づくりをしていきたいと思っておりますので、保護者の皆様や地域の皆様のお力添えをお願い申し上げます。

# 第二十六回長野県市町村対抗駅伝競走大会 第十二回長野県市町村対抗小学生駅伝競走大会 代表選手、健闘する!

四月二十九日、第二十六回長野県市町村対抗駅伝競走大会と第十二回長野県市町村対抗小学生駅伝競走大会が松本市で開催されました。

一般の部は、中学生から一般の選手九名と控えの選手合わせて十二名で参加しました。松本平広域公園陸上競技場をスタートし、全長四十二・一九五kmを九名でタスキをつなぎ、全五十九チーム中、四十九位という成績でした。

小学生の部は、選手四名と控えの選手合わせて六名で参加しました。松本平広域公園陸上競技場の周回コース全長六・一kmを四人でタスキをつなぎ、全六十二チーム中、二十九位という成績でした。



第6中継所 知久選手→松澤選手



選手・関係者 健闘を祝い記念撮影

当日、松本に到着した時点では小雨でコンディションを心配しましたが、スタート時には雨も上がり日差しも戻りました。低かった気温も徐々に上昇し、選手の間は寒暖の差の激しい一日でしたが精一杯の力を発揮してくれました。

選手の皆さん、また保護者をはじめ協力いただいた皆さん、本当にお疲れさまでした。来年も期待しています。(編集部)

駅伝大会メンバー		
一般チーム		
一区	池田和穂	中三
二区	片桐優希	高二
三区	片桐北斗	中三
四区	吉津貴義	
五区	木下寛司	
六区	知久宗一郎	中三
七区	松澤綾音	高二
八区	遠山春樹	
九区	屋神茂雄	
補欠	桐生佳朗	中三
補欠	束原亜美	中三
補欠	知久遥紀	高二

駅伝大会メンバー		
小学生チーム		
一区	大平茉白	第一小六年
二区	筒井晴太郎	第一小六年
三区	桐生慧	第一小六年
四区	片桐慎	第一小五年
補欠	池田峻将	第一小六年
補欠	藤森愛夢	第一小五年



## たかぎ短歌会 卯月歌会詠草

六腹の豚のお産に一日過ぎさくらさくらのラジオ聞きつつ  
一人暮らし始めた孫は夕食のおかず出来たと写真メール寄こす  
泪して「母と暮せば」の映画ぬゆう事なら母に会いたし  
寄る店毎みかんみかんと爆買いのJA信州の旅人われら  
安保护法今日から施行すまじ2016三月二十九日

知久美子 木下寿子 小椋りよ 関島春子 田中妙子

吹き荒れし春風のいたずら軒に干す夫と私のシャツが腕組む 内山和子  
古い母の車椅子押す待合室のやさしき青年介護離職か 市瀬准子  
あざやかに今年も開く福寿草家族の皆が健やかなれと 原健彦  
竹林を唸らせる風吹きやまず応ふる如く襖も揺るる 元島康子  
寮の庭さんしゅうの黄咲き初めて光彩眩し癒される朝 大村初見  
重ね着の奥のポケットのケイタイは着信電波を真面目にキャッチ 木林睦枝  
人知れず時を遣へず山ざくら木地師の墓に咲きて散り敷く 福澤亀人

## チャレンジデー2016

5月25日(水) 10時～19時

【対戦相手】北海道 本別町 (人口7,542人)

チャレンジデー2016がいよいよ行われます。  
当日は多くの方の参加をお願いします。  
めざせ、参加率70%以上!



選手宣誓 帰牛原すきでーズ 轟主将

## 夜間ソフトボール リーグ戦開幕

今年もソフトボールのシーズンが到来しました。夜間ソフトボール連盟(池田英幸会長)は四月十五日に開会式を行い、リーグ戦の熱い戦いがスタートしました。

今年十七チームが参加し、総当たりのリーグ戦を秋まで行い、優勝を争います。昨年をもってヤングソフトリーグが終了し、ヤング経験者などの加入による各チームの戦力補強が行われました。

今年どのチームが優勝するのか全く分らない状況です。十代から七十代まで幅広い世代が共に汗を流し、新しい交流につながることを期待します。ケガには十分注意していただきながら、熱い戦いを繰り広げ盛り上げていただきたいと思えます。

## 編集後記

立夏を終え、新緑の眩しい季節となりました。ゴールデンウィーク、皆様いかがお過ごしでしたか。今年はどうなるのかと心配した阿島の大藤も案内の看板を目にし、久しぶりに行ってみました。以前はあんなに長かった花もだいぶ短くなってしまったけれど、それでも古木が一生懸命花を咲かせていました。お団子を買いたかったけれど、これもまたお年を重ねられた皆様が一生涯懸命準備をされておられ、ちよつと間に合わず残念でした。来年も美しい花とお団子をお願いしますね。